

FMX SHOW CASE 出演ライダー紹介

★★ ENTERTAINMENT ★★



DAICE [鈴木大助]

言わずと知れた、日本 FMX 創世記から現在に至るまでシーンを引っ張り続ける、まさに「リビングレジェンド」。FMXSHOWCASE 代表でもあり、近年では FMX に留まらず、持ち前のクリエイティビティを活かしバイクで楽しく遊ぶ場所を作るのにも注力、その独自のアプローチは大きな反響を呼んでおり、シーンのトレンドセッターとしても常に注目される存在だ。



GONTA [鈴木耕太]

オリジナリティ溢れる表現方法で、自らの思い描く世界観を発信し続けている。その根源にはアクションスポーツシーンへの深いリスペクトがあり、自身がプロライダーとして活動する FMX 以外にも BMX、スケートボーディング等を楽しむ様も含め、プロとアマチュアの垣根を超えた表現が多くファンから支持されている。



HTC [高橋 仁]

フリップコンボのバリエーションは国内でも一、二を争う、世界的にみても有数のスキルを持ったテクニカルライダー。当時いわゆる第一世代と呼ばれるライダー達が圧倒的強さを誇った国内コンペティションシーンで、次世代ライダーとして初めてその牙城を崩し頂点に立ち、歴史を動かした功績は大きく、今もなおそのスキルを磨き続けている。



KOTA [釘村孝太]

日本国内でスーパークロスイベントが行われていた 90 年代、併催されるアクションジャンプコンテストでの活躍が海外のプロモーターの目にとまり、オーストラリアでの大会に招待されるなど、彼もまた日本の FMX 創成期からシーンを担い続けるライダーのひとり。そのアグレッシブかつ高度な技術に裏付けされたライディングは彼のスタイルそのものであり、観衆のみならず多くの関係者やライダー仲間をも魅了するほどインパクトに溢れるものだ。